

## 平成 30 年度第 3 回倉吉市総合戦略推進委員会 議事要旨

日時：平成 30 年 11 月 28 日（水）14：00～15：30

場所：大会議室（市役所本庁舎 3 階）

### 【資料】

資料 1 委員名簿

資料 2 平成30年度総合戦略推進委員会からの提案等に対する検討の方向性一覧表

資料 3 ライフステージ別で対策を講じるべき横断的な課題

### 1 開会

※出席者：福井委員、三木委員、多田委員、山脇委員、荒瀧委員、安藤委員、田村委員、河野委員、加藤委員、田中良委員、宇田川委員

欠席者：松田委員、桑原委員、山下委員、河越委員、木口委員、名越委員、竹尾委員、尾崎委員、桑垣委員、岩世委員、笠見委員、米田委員、田中響委員、川村委員、大江委員、石村委員

### 2 報告

・各委員からの提案等に対する市の検討の方向性について

※資料 2 について事務局から説明

### 3 意見交換

観光振興による中心市街地の面的再生事業	
多田委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ひなビタ♪」については、学生がアニメによるまちづくりを研究している。</li><li>・「聖地巡礼」も行われているが、単に来てもらうだけでなく、例えばまつりに参加してもらってはどうか。</li><li>・関係人口として、第2のふるさととして後押ししているファンも多くいると聞いている。住んでいる人とは違う愛着や、倉吉を良くしたいという感覚を持っている。参画してもらうしかけや仕組みづくりをすれば、若い人も移住してくるのではないか。</li></ul>
三木委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・先般、「SLやまぐち号」に乗ったが、近所の人、農家の人々が皆で手を振って歓迎してくれて、まち全体でもてなしており心地よかった。</li><li>・「ひなビタ♪」のお客さんを地域の重要なお客様として、エリア全体で彼らを受け入れる体制を作ってはどうか。</li></ul>
田中良委員	<ul style="list-style-type: none"><li>・「ひなビタ♪」目的で来られる人に、さらにお金を落としてもらう手段を検討してはどうか。</li></ul>

美船企画産業部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・おかげさまで、「ひなビタ♪」のファンはリピーターが多く、「倉吉に帰りたい」とSNS等でつぶやいていただいている。</li> <li>・打吹まつりには、みつぼし踊りの踊り子として参加してもらっているほか、キャラクターの誕生日会などが市内飲食店等で開かれ、宿泊含めてお金を落としていただいている。エリア内での戦略がいると考える。</li> </ul>
田村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「倉吉ひなビタ♪応援団」メンバーとして活動しているが、キャラクターの誕生日に全国からファンが集まるが、ファンに喜ばれる小物があればと考える。そのものづくりの取組が広がり、経済効果にもつながればと考える。</li> <li>・市がどこまで「ひなビタ♪」に取り組もうとしているかわからない。</li> <li>・各銀行にキャラクターパネルが置かれてもいい。貯金するファンがいるかもしれない。</li> </ul>
三木委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・中心市街地の面的な再生という点で、小川家は西の端にあり、今後県立美術館や市役所第2庁舎とできるが、この地域の価値を上げていくための取組を民間と協力してやっていかないといけない。</li> <li>・店舗や家が解体され、空き地のまま手が付けられていない。</li> <li>・市はどう考えているか。</li> </ul>
福井委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・まちは人と一緒に生きている。</li> <li>・2～3年前の観光マップではもう古い。新しい店舗や資源等生きた情報のデータベース化と見える化が必要。</li> <li>・新年度事業として提案したい。</li> </ul>
美船企画産業部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人が人を呼び、まちの価値を高めていく。それで、また人がやってくる。徳島県神山町の取組は参考としたい。</li> <li>・中心市街地活性化については、中心市街地活性化協議会や銀座商店街でも議論しているところ。</li> <li>・どう投資が進むかが論点。</li> <li>・調査活動も行っている。</li> <li>・中心市街地の空き家や空き店舗の利活用については、平成31年1月19日に「空き家シンポジウム」を開催予定である。</li> </ul>
河野委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小川家住宅の公開のメドが立っていないというのはなぜか。</li> <li>・運営は、3セクやNPO法人がやるのか。</li> </ul>
美船企画産業部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・持ち主は最低限の公開を考えられている。</li> <li>・まずは庭の入園者の収益を上げてから住宅の公開と考えられている。</li> <li>・後はプレイヤーの問題で、誰が、どのように運営していくかがネック。すぐにはできないというのが現状。</li> <li>・中心市街地活性化の中で検討し、持ち主とも話を進めているところ。</li> </ul>

ふるさと教育	
安藤委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ふるさと教育だが、中学生に県外からIターンした人や起業した人など県外経験者から外の目で話をしてもらえば、例え将来県外に出たとしても思い出して、倉吉に帰ってくるきっかけになるのでは。</li> </ul>
美船企画産業部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・参考にさせていただく。</li> </ul>

県内大学生へのアプローチ	
多田委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外進学者等へのアプローチが課題として挙げられているが、県内大学生へのアプローチはあるか。</li> <li>・COC+の取組で企業見学会等開催しているが、倉吉市の情報があまりない。情報発信すれば、学生は関心を持ってくれる。</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>・COC+事務局に直接お願いはしているが、倉吉への移動時間がネックとなり、なかなか設定できないと聞いている。</li> </ul>

子育て世代に必要な情報発信（移住対策）	
山脇委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・県外の移住相談会に出られているが、子育て世代に響く材料となっているか。</li> <li>・日本全国でやっている子育て支援策等を紹介していてもダメ。他市町とどう違うのか、何が良いのか、しっかりと差が出せる資料でないといけない。</li> <li>・例えば、待機児童ゼロとよく言うが、それは3歳以上児だけを見たもの。0歳からでも働きたい家庭はあるわけで、その部分については倉吉の保育園でも受入が不足している。逆に、0歳以上でも待機児童ゼロなら、大いにPRの材料となる。</li> </ul>
美船企画産業部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・差別化が見て取れる資料づくりをしていく。</li> </ul>

地元既存企業の支援	
田村委員	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつも同じ回答で、残念。</li> <li>・「関係機関等と検討していく」とあるが、本当にそういった話し合いが持たれているのか。</li> <li>・情報発信と言っても、メールやファクスを送りっぱなし。</li> <li>・チャレンジショップもほんの一握りの取組でしかない。一つでも、二つでも支援策が検討してほしい。</li> <li>・わかっていない企業に対しては努力の仕方を教えてほしい。</li> <li>・商工会議所も人手不足であり、行政がサポートできないか。</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業誘致には力を入れているが、既存企業への支援・フォローをもっとしてほしい。</li> <li>・県は女性起業家の支援をしているが、倉吉にはない。県との連携でもいいので取り組んでほしい。</li> </ul>
美船企画産業部長	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当課が地元企業の現実を十分理解していない部分があり、田村委員の意見の意味を汲み取っていないと反省する。</li> <li>・1のアイデアを10にできる支援を望まれているところだが、それが「よろず相談」では対応できていないと考える。</li> </ul>

#### 4 その他

※事務局より、今回が今年度最後の委員会の開催であることを説明

#### 5 閉会